

外国語活動学習指導案

5年3組 28名 指導者 西 耕 治

本授業は、以下の仮説の検証を行っていくものである。

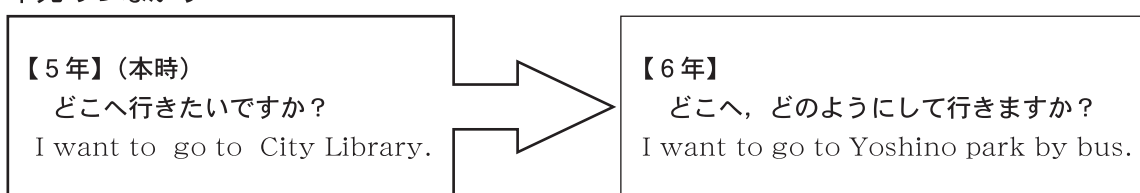
- 子どもたちのコミュニケーション能力の素地を高めるために、自分の行きたい場所の名前を表現するという必要感のある場面を設定し、場所の名前を覚えたり、行きたい場所を英語で言い表したりして外国語活動に対する関心を高め、表現したいという意欲を高めることができるようにする。

1 単元名 「どこへ、行きたいですか」

2 目 標

自分の行きたい場所の名前を英語で表現し、ゲームをしながらいろいろな場所の名前を言えるようにすることを通して、英語に親しむ。

3 単元のつながり



4 単元設定の理由

本単元は、自分の行きたい場所を英語で表現することやいろいろな場所を表す言葉を知り、英語で言い表すことを目標としている。この期の子どもたちは、生活する範囲の広がりや学校での遠足の経験、家庭でのピクニックなどの経験があり、生活圏内から遠く離れた場所を訪れている。また、そこでの楽しい経験をそれぞれもっていると考えられる。このような楽しい経験をもとに、そのような身近な場所の名前を英語で表現したり、いろいろな場所の名前を覚えたりする活動は、子どもたちの興味・関心が高いと考えられる。このような子どもたちの身の回りの生活経験を素材として、興味・関心にそった必要感のある主体的な学習が進められるように、教材化を図ることとした。

高学年になると、各教科等においても自分から進んで発表したり、活動したりすることに躊躇する子どもたちが増えてくる。外国語活動は、結果としての知識の習得を目的とするものではないが、このような消極的な傾向が見られることから、知的好奇心を高め、児童の学習意欲を喚起することが望まれる。そこで、本単元では、どのような場所に行ってみたいかという子どもたちの興味・関心から学習意欲を高めることとする。

第1時では、町の中にある道路や川、建造物といったものの名前を学習する。第2時では行きたい場所の名前を確認したり、新たに場所の名前を知ったりする活動を中心に行うようにする。

さらに、次学年では、その目的地にどのような方法で行きたいかについても考えさせるようにし、目的とする場所の名前だけではなく、どのような手段・方法をもってたどり着くかということも考えさせたい。そこには、総合的な思考力や学んだことを目的を達成するために活用する力が求められる。これら一連の学習活動が子どもたちの知的好奇心を高め、学習活動に必然性をもたせることができ、活用して表現する力を高めることができる考える。

これらの活動を通して、自分を表現していこうとする態度を育て、コミュニケーション能力の素地を養っていきたいと考える。

5 子どもの実態

本学級の子どもは日常生活の中で多くの英語が多く使われていることを知っている。また、外国人と話す場面では英語が共通の言語として使われていることが多いことも知っている。そのため、英語を話してみたいという願いをもっている子どもが多い。また、英会話スクールなどに通い、英語に親しんでいる子どももいる。しかし、実際に英語を話す場面や外国人を前にしたときに、消極的になる傾向もあることから、本学習を設定することは意義深いと考える。

外国語活動についての子どもたちの意識や本時の活動にかかわる英単語習得状況についてのアンケート結果は以下のようなものである。

質問項目	回答	主な理由
Q 外国語活動は楽しいですか。	はい 13人	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな英語を覚えられる。(13人) ・楽しく英語が学べる。(5人) ・歌ったり、踊ったりして楽しい。(4人) ・いろいろな発音があって楽しい。(4人) 【複数回答】
	いいえ 15人	<ul style="list-style-type: none"> ・覚えられないから好きではない。(15人) ・意味が分からないことがある。(14人) ・発音が難しい。(15人) 【複数回答】
Q 外国語活動で難しいと感じていることは何ですか。	発音が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ・言い方が変になる。(12人) ・言えないところがある。(8人) ・覚えられない。(15人) 【複数回答】
	忘れてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに言葉を忘れてしまう。(14人)
	聞き取りが難しい	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい言葉が多くて聞き取り辛い。(8人)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・間違ってしまうことがある。 ・長い文が分からない。 ・書くことが難しい。 ・あいさつがうまく言えない。 【複数回答】
Q 外国語を使ってどんなことができるようになりたいですか。		<ul style="list-style-type: none"> ・すらすら言えるようになりたい。(24人) ・忘れないようにしたい。(4人) ・外国人と話してみたい。(16人) ・発音が上手になりたい。(24人) 【複数回答】
Q 英語で言える場所にはどんな所がありますか。		<ul style="list-style-type: none"> ・市役所 (0人) ・幼稚園 (0人) ・図書館 (0人) ・動物園 (11人) ・郵便局 (0人) ・中央駅 (0人) ・デパート (0人) ・公園 (10人) ・美術館 (0人) ・水族館 (0人) ・銀行 (2人) ・病院 (6人) 【複数回答】

アンケートの結果から、約半数の子どもたちが外国語活動は「楽しい」と感じていることが分かる。しかし、半数の子どもたちは「楽しくない」「あまり楽しくない」と答えている。「楽しい」と感じている子どもたちは、異なる言語に対する関心・意欲が高く、意欲的に活動するが、「いいえ(難しい)」と答える子どもたちは、一度日本語に置き換えて意味を探ろうとする傾向が見られる。また、意味や発音に関する内容について難しいと感じている子どもが多い。発音に対しては、指導者の口元を見て繰り返すことや何度もreviewを行うことによって、簡単な言い方から自信をつけさせるようにしたい。そして、聞き取りの難しさや間違いに対する不安なども抱えていることから、たとえ間違えても何度も何度も繰り返すことによって理解・習得されていくことを説明したり、日本語の説明を交えながら学習を進め、不安や戸惑いを取り除いて行きたい。

本学級の子どもたちは、「すらすらと言えるようになりたい」という願いをもちながら、「覚えられない」「意味が分からない」「発音が難しい」といった不安をもっている。これらは、外国語活動が正しく認識されないままに進められてきた可能性を示唆する。繰り返し学習すること、戸惑うときには十分に説明を加えていくことなどに留意していきたい。また、小学校期における外国語活動は、結果としての知識の習得を期してはいないことや楽しく学ぶことができればよいことなどを伝えるようにしたい。

本単元に直接かかわる場所に関する単語の知識は、さほど高まっていないことから、田上小学校の周りにある一般的な場所にかかわる名前を知る活動(1時)と、市内にある身近な自分の行ってみたい場所の名前を知る活動(2時)とに分け、段階的に指導して行くこととする。また、その際、ゲーム化やチャンツなどを取り入れ、楽しく学ぶことができるようにする。

6 本時の指導に当たって

まず、外国語活動に抵抗なく入ることができるようにするために、あいさつや発表する際の言い方などは本校なりの定型の言い方で行うようにし、相手意識・目的意識を明確にもってできるようにする。また、リラックスした気持ちで活動に臨むことができるようにするために、リズムに合わせて体を動かしながら英語の歌を歌うようにする。展開では知的好奇心を高め、児童の学習意欲を喚起するために、子どもたちの興味・関心の高い場所を教材として用い、鹿児島市の地図を使って、その目的地がおおよそどこに位置するかについても考えさせるようにしたい。

7 実 際

時間	学 習 活 動	指導上の留意点
3	<p>Greeting</p> <p>1 はじめのあいさつをする。 Good morning everyone. How are you? I'm fine thank you.And you?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 始めは全体で、その後1対1であいさつをしてあいさつに慣れさせるようにする。 ○ 音楽に合わせ、楽器を活用してリズムをとり、楽しく歌えるようにする。 ○ フラッシュカードを使って前時に学習した町にある物の名前を振り返ることができるようにする。 ○ 「〇〇に行きたいです」という言い方を繰り返し練習し、表現に慣れることができるようにする。 ○ 実態調査の結果から子どもたちの行ってみたい場所の名前を多く取り入れるようにする。 ○ 制限時間内に多くの友達と交流を行い、繰り返し練習することができるようにする。 ○ 英語ノートを活用して、英語で話された物語を聞き、長い文に興味をもつことができるようにする。 ○ 今日の学習ではじめて知ったことや言えるようになったことを賞賛する。
3	<p>2 元気よく、楽しく歌を歌う。 Let's sing a song together. 〔sing a song of "The Alphabet Song"〕</p>	
10	<p>Review</p> <p>3 前時の学習した場所や建物をクイズ形式にして復習する。 What is this? It's road.</p>	
17	<p>Today's topic</p> <p>いろいろな場所の名前を知ったり、「〇〇へ行きたいです」という言い方を知って楽しむ。</p> <p>4 「〇〇へ行きたいです」という表現の仕方を知り、練習する。 Where do you want to go? I want to go to City library.</p> <p>5 いろいろな場所の名前を知る。 city-office post-office zoo department-store park Station museum amusement-park sports-Land Aquarium movie-theater bank science-museum toy-shop</p>	
7	<p>6 行きたい場所ビンゴゲームをする。 9マスの解答用紙に好きな場所を日本語で書き込み、出会った友達に「どこに行きたいですか?」と尋ねる。相手は英語で「I want to go to 〇〇.」と答え、答えた場所と自分のカードの記入した場所があったら○をつけるビンゴゲームを競い合う。</p>	
3	<p>7 英語のお話を聞く。</p>	
2	<p>Greeting</p> <p>8 学習のまとめと終わりのあいさつをする。 Thank you very much. Good-bye. See you.</p>	

8 言葉や表現、準備について

【word & expression】

Where do you want to go?
I want to go to (City library).
bank, hospital, post-office, zoo, department-store etc

【preparation】

- CDラジカセ ○ 教師用フラッシュカード（場所や建物等の写真、等）
- 英語CD